

平成 29 年 11 月 14 日（火）にグランフロント大阪にて、けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2017 を開催しました。

行事の名称	けいはんな R&D イノベーションフォーラム ～『Global innovation for New business creation』
行事の目的	「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」では、マーケットを見据えつつ新事業・産業創出に向けて産学官連携、異業種連携、研究開発成果の利用促進を進めています。その中間成果を、会員はもとより広く一般にも知っていただくと共に、公開セミナーを通じて本活動の更なる飛躍を図る。
行事の実施日時又は実施期間	平成 29（2017）年 11 月 14 日（火） 10:15～17:00
行事の実施場所	グランフロント大阪北館タワーC8 階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC Room C01+02 （大阪市北区大深町 3-1）
行事を主催する団体等の名称（共催を含む。）	公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM 支援センター
行事の参加人員数	第一部：無料にて参加者 29 名 （内訳 会員 29 名） （昨年実績 会員 26 名） 第二部：無料にて参加者 86 名 （内訳 会員 35 名、一般 51 名） （昨年実績 会員 32 名、一般 105 名）
共催団体の名称	(公社)関西経済連合会
後援団体の名称	国立国会図書館、京都府、大阪府、奈良県、関西広域連合
実施の状況(行事に参加した者の状況等)	第一部は、けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム会員が参加、第二部は、マーケットを見据えつつグローバル・イノベーションを通じて新産業や新事業創出に興味を有する、産業界を中心とした方々に対し、地域、会員、非会員に関わらず広く公開。

【第1部】

時間	内容
第1部	けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム中間成果報告会
10:15-10:20	開会挨拶
10:20-10:55	中間成果報告
10:55-11:35	WG からの報告／Club けいはんな／公道実証実験プラットフォーム

会員向けに実施された第1部の中間成果報告会では、技術・運営委員会からコンソーシアムの発足時より21増加し、計81会員となり活動も活発化してきているなかでの全体状況が報告され、つづく、分野別WGからの報告では、トピックスとしての『Culture2.0プロジェクト』によるプロトタイプによる実機デモがありました。その他、農食、健康、モビリティ・エネルギー、新テーマ創出の各4WGにおける具体的成果と今後の検討項目に関する状況報告、サポーター会員数が1100名を越えた『Club けいはんな』の活動状況、9月29日から運用開始された『公道走行実証実験プラットフォーム(K-PEP)』に関する報告がありました。これにもとづき、会員間において熱心な議論が行われました。



【第2部】

時間	内容
第2部 セミナー「新たな事業創出に向けたグローバルイノベーション」	
13:00-13:10	「開会挨拶」
13:10-13:25	「コンソーシアムとRDMM 支援センターの活動状況」 丸野進(RDMM 支援センター長)
13:30-14:30	「imec corporate overview」Dr. Piet de Moor ,imec, Belgium. Senior Business Development Manager Imagers
14:30-14:45	休憩(15分)
14:50-15:50	「imec sensor technologies overview」 Dr. Piet de Moor
15:50-16:50	「日本の大学のグローバル連携事情 ～大阪大学北米拠点駐在の日々から～」 権澤哲 氏 (株)サンブリッジグローバルベンチャーズ チーフ ハビタット オフィサー 大阪大学招聘教授(前北米センター長)
16:50-17:00	「閉会御礼」

一般向けに実施された第2部の公開フォーラムでは、86名の皆様の参加を戴きました。冒頭において、コンソーシアム活動とその成果に関する一般向けの紹介が行われたあと、「新たな事業創出に向けたグローバルイノベーション」を主題に、グローバルイノベーションの最前線で何が起きているか、産業界の実情をR&D イノベーションで世界をリードする imec (ベルギー) の Piet de Moor 博士より、アカデミック分野での実情を権澤哲氏(大阪大学招聘教授、前北米センター長)より講演を戴きました。参加者の方々からも期待に違わぬセミナーであったと高く評価頂きました。

